

我々JISA会員は、社会の情報基盤を提供する基幹産業の一員としての立場を自覚し、高い企業倫理と職業倫理をもって、市場と取引と経営の透明性を高め、人を大切にする魅力ある産業となるべく努力し、健全な情報化社会の発展に貢献する。また、法令・社会規範の遵守、人間尊重、社会・経済との融合、自由で主体性ある事業活動の保持、社会的良識と責任ある行動により、自らが魅力ある産業へ成長することを宣言する。そして、情報技術により、少子高齢化社会に豊かさ調和をもたらす、グローバル化と地域固有文化の伝承を両立させ、未来にかけがえのない地球環境を残し伝えていくことをここに誓う。

1. 基幹産業としての社会的役割を自覚し全うする

我々は、わが国の基幹産業として、社会の健全な発展と公共の福祉に貢献する。

2. 高品質かつ安全性・信頼性に富む情報サービスを提供する

我々は、わが国の情報化の進展に貢献するため、品質・生産性を重視した開発プロセス管理を実践することにより高品質なソフトウェアを構築し、安全性・信頼性に富む情報サービスを提供する。

3. 知的財産の価値を正しく認識し尊重する

我々は、ソフトウェアをはじめ情報サービスの価値を正しく認識し、知的財産としてこれらを重視し、適切に保護・活用する。この価値を否定するような行動は如何なる理由があろうと一切容認しない。

4. 法令及び社会規範遵守の経営を実践する

我々は、内部統制システムの的確な運用を通じ、会計関係を始めとする各種法令及び社会規範を遵守し、社会や株主への適時・適正な情報開示に努める。また、個人情報及び機密情報を適切に保護し、健全な情報化社会の実現を阻害する反社会的勢力とも毅然と対抗していく。

5. 事業活動と情報サービス市場の透明性を確保する

我々は、ソフトウェアをはじめ情報サービスという目に見えにくい価値や資産及び機能を提供しているが、その生成プロセスや成果を可視化することにより、事業活動の透明性向上を図る。そして、自由で公正な市場競争を実現し、透明かつ健全な情報サービス市場の確立と維持に真摯に取り組む。

6. 優秀な人材が育ち活躍できる環境を確立する

我々は、情報サービス産業の最大の経営資源は人材であることを認識し、人材の育成と高度化、適正な評価と魅力ある処遇、ワーク・ライフ・バランスなどを実現し、社員ひとり一人が将来を託し夢をかなえられる環境を確立する。

7. 情報技術のプロフェッショナルとしての自覚と職業倫理を保持できる環境を確立する

我々は、情報社会における情報サービス産業の重要性・将来性を周知し、産業のブランド・イメージを高め、働くひとり一人が情報技術のプロフェッショナルとしての誇りと自覚そして崇高な職業倫理を保持できる環境を確立する。

8. 新たな夢と可能性にチャレンジする経営を実践する

我々は、モラルと理想を持ち、情報サービス市場の発展・拡大を図り、自らの英知と努力によって適正な利益を確保する。さらに国際展開など広い視野に立ち、新たな夢と可能性にチャレンジする経営を実践する。

9. 経営者は自らの責務として本宣言を実践する

我々は、本宣言の実践が責務であることを認識し、経営トップ自らが率先垂範の上、社内に徹底するとともに、グループ企業や取引先に周知を行う。また、社内外の声を常時把握し、実効ある社内体制の整備を行うとともに、企業倫理の徹底を図る。

10. 業界のモラルと自浄能力を維持・向上する

我々は、自社内及び自社グループ内において本宣言に反する事態が発生したときには、経営トップ自らが問題解決にあたる姿勢を内外に明らかにし、原因究明、再発防止に努める。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、自らを含めて厳正な処分を行うことにより、業界の信頼回復に努める。

JISA人材戦略ビジョン(1)

戦略目標	成功要因	評価の視点/指標	ターゲット(目標)	★対応策★
魅力ある将来像の 確立	産業構造の改革	産構審「中間とりまとめ」の“在るべき姿”	ICTサービスのビジネスモデルを再定義	ビジネスモデルに則した企業評価指標を確立する
		受託(請負)型ビジネスの高度化	偽装請負(グレーな準委任契約等)の撲滅	労働者派遣法の適正な運用を推進する
	高品質なソフトウェアとサービス	品質要求(評価)基準の策定	品質・生産性向上	JISA品質基準を制定する
	収益性の向上	営業利益率向上	業界平均で営業利益率10%以上	下請取引の健全化(丸投げ撲滅)を図る
	情報技術の専門性(プロフェッショナル)強化	ITSSの高度人材の増加	ITSSレベル5以上を10万人に	ICTカレッジによる人材育成を活発化する
				情報大学院を実現する
	国際展開	海外進出企業の増加	海外からの年間売上高1兆円	海外市場および技術・ビジネス動向に関する情報収集を活発化する
海外取引に関するマニュアルを作成する				
			海外広報体制を整備する	

JISA人材戦略ビジョン(2)

戦略目標	成功要因	評価の視点/指標	ターゲット(目標)	★対応策★	
あるべき働き方の確立	人間尊重	人間性重視のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・離職率半減 ・従業員満足度向上 	PMのマネジメント能力の向上を図る	
		現場マネジメント能力の向上		効果的な人事ローテーションを実践する	
		多様な人材の活用		女性管理職・PMの増加	多様かつ公正な勤務制度を構築・運用する
				高度な外国人従業員数の増加	外国人技術者を活用（雇用・オフショア）する
	ワーク・ライフ・バランス	長時間労働の是正	月間50時間以上残業の減少	企業のマネジメント力の成熟度を向上させる	
		長期休暇取得の推進	10日以上長期休暇		
		女性社員の活用（育児制度の活用）	育児休暇・復職後の短時間勤務制の利用率向上	多様就業型ワークシェアリングを実践する	
		短時間勤務制度の充実		育児・介護以外の理由への適用を図る	
		生産性の向上を図る	脱労働集約型ビジネス	請負型ビジネスを浸透させ生産性を高める	
	働き方の業界標準の制定	各数値目標を設定する	労働時間・休暇・育児制度等について業界基準を定める		
成果重視の評価	時間管理から成果（業績）評価へ	成果給の相場形成	ITエンジニアの業績評価基準を確立する		

JISA人材戦略ビジョン(3)

戦略目標	成功要因	評価の視点/指標	ターゲット(目標)	★対応策★
働くひと一人が 誇りをもてる環境 の確立	給与水準	国内最高水準および国際的 水準の給与水準の実現	年収2000万円社員 の実現	企業の給与支払い能力(収益力) を高める
	自分自身の仕事に対する 自信と誇りを高める	高品質なソフトウェアと サービス	「魅力ある将来像の 確立」と同じ	「魅力ある将来像の確立」と同じ
	経営の主体性	自立的な経営戦略の実行	親会社・関係他社へ の依存度の低下	自立的な経営戦略を策定・実行す る
	社会的要請と役割	コンプライアンス	障害者雇用率の向上	職業訓練校等との連携などにより 障害者雇用を推進する
			定年制の見直し	高齢者雇用(再雇用、継続雇用、 再教育等)を推進する
			時間外労働30%削減	長時間労働の撲滅
	キャリアと成長	戦略的なキャリアマネジ メント	教育費の拡大(対売 上高比のアップ)	教育体系の整備・高度化および 教育投資を増加させる
		高度IT人材の育成	ITSSレベル6・7を増 やす(従業員10%以 上)	高度スペシャリスト、プロジェクト マネジャー、コンサルタントを 育成する仕組みの充実を図る
		情報技術者としての基礎 教育の充実	初任者教育により ITSSレベル1・2を養 成	初任者教育の質的向上を図り実践 的なスペシャリストを育成する
		評価制度の高度化	仕事の成果に基づく 処遇制度の導入	日本的な成果主義による評価およ びマネジメント制度を構築する

(社)情報サービス産業協会

<http://www.jisa.or.jp>